

選考委員会総評

委員長 細江英公(ほそえ えいこう)

第29回林忠彦賞の選考が終わりました。全体の感想としては、きわめて品格のある作品が多かったということです。林忠彦さんは誰よりもプロフェッショナルな方で、素晴らしい写真を撮られています。文学者の写真などはすごいですね。色々な方が被写体となっている。それだけでなく、林先生は風景の写真などもたくさん撮っておられ、先生を目標として写真を勉強し、撮られている方も多いでしょう。林忠彦賞は誰でも応募できますから、今回も多く作品を拝見いたしました。そして確実にレベルが上がっていると感じました。

今回の林忠彦賞に選ばれた笠木絵津子さんの『私の知らない母』は家族の写真というのでしょうか。笠木さんはそれまで知らなかったお母様の昔の写真に出会われ、それからご自身がお母様の生きてこられた場所を訪ねて撮影され、古い写真と組み合わせることで作品を作り上げておられます。私は、家族や友達との写真はとても大切に、長く保管されると良いと考えています。それらの写真は今日明日ではなく10年、20年、あるいは50年と時間がたてばたつほど価値が生まれていくのです。今回の作品は、まさにそうした過ぎ去った時間と現在とが交差して生み出された素晴らしい作品であったと思います。

林忠彦さんが生まれ育った周南市が、この価値ある林忠彦賞を創設され今回で29回となりました。これまで続けてこられた周南市に、深く敬意を表します。